

いのちの意味が問われる時代に 伴走型支援の可能性 ～協同組合の役割とは～

近年、子どもから大人に至るまで、多様な形で顕在化しつつある「貧困」の問題があらためてクローズアップされています。

今回、北九州の地域でそうした生活困窮者や路上生活者に寄り添い、支援を行っている奥田知志さんをお招きし、今後私たちがどのように関わりをもっていくかを考える機会にします。



入場
無料

ほうぼく

NPO法人抱樸

理事長 奥田知志氏

日時

平成31年 4/20 (土)

●開場 9:30

●開演 10:00~12:00

会場

コラニー文化ホール

3F会議室

(〒400-0033 甲府市寿町26-1)

駐車場

講演会参加者はホール駐車場が無料

会場受付にて押印しますので駐車券をお持ちください。

(近隣の駐車場にお停めの場合は無料になりません)

プロフィール

1963年滋賀県生まれ。関西学院大学在学中に日本最大の寄せ場(日雇い労働者の街)と出会って以来生活困窮者支援・ホームレス支援に携わる。

1990年、現在の日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師に就任。同時に北九州におけるホームレス支援団体であった北九州越冬実行委員会事務局長となる。

2000年、NPO法人北九州ホームレス支援機構設立、理事長に就任。(2014年7月NPO法人抱樸と名称を変更)

2016年第一回賀川豊彦賞受賞。

活動は、マスコミにもしばしば取り上げられNHK総合「プロフェッショナル仕事の流儀」に2度出演。

牧師、困窮者支援、大学での講義、厚生労働省等での委員など、種々の場で活躍中。近著は、「助けてと言える国へ」(集英社)、「生活困窮者への伴走型支援」(明石書店)など。

<お申し込み・お問い合わせ>

山梨県生活協同組合連合会

TEL 055-243-6440 (月-金 9:30~17:00)

E-mail yamanashi.kenren@y-coop.jp

◆受付は[こちら](#)(今回の企画は保育の受付はございません)